

『脳動脈瘤塞栓術後の長期成績とフォローアップ期間についての検討』

のための医療データ提供のお願い

未破裂および破裂脳動脈瘤の治療としてコイル塞栓術は一般的な治療となってきました。ただし、治療後に一定の確率で動脈瘤の再発が起こり、さらに動脈瘤再発に対して再治療が必要となることもあるために、治療後も定期的な画像のフォローアップが必要です。しかし、いつまで画像フォローすべきか、明確なフォローアップ期間が定まっていないのが現状です。そこで我々は、塞栓術後の長期成績について調査し、動脈瘤の再発および再治療までの期間について検討し、脳動脈瘤コイル塞栓術の長期成績および至適フォローアップ期間を明らかにしたいと考えております。

今回、我々は5年以上の経過観察が可能であった患者様を対象として後方視的に調査します。治療前の脳動脈瘤のサイズや部位、形状などの病変情報、治療時に使用したテクニックやデバイスの種類、抗血小板薬などの内服等の患者様の状態、フォロー時の画像所見やデータなどを後方視的に収集して評価を行います。

この研究のために2006年4月1日～2011年3月31日までの期間に当院で脳動脈瘤コイル塞栓術を施行した動脈瘤（未破裂瘤および破裂瘤）の情報を含めた検査データおよび周術期や術後情報のデータを使用します。

病院スタッフは、医療従事者としての守秘義務が課せられており、患者様の個人情報には固く守られています。また、この研究で得られた情報を取りまとめる際、患者さん個人を特定できる情報（氏名・住所・電話番号等）は記載しません。同様に、医学雑誌等に発表する場合も個人が特定できないように配慮されます。

ご提供頂いた医療データは研究終了後、主任研究者が厳重に保管し、研究終了5年後に廃棄されます。

この研究への医療データ等の提供をご辞退される場合、また研究の内容についてより詳細な情報を希望される場合やご質問等がある場合には下記の担当医師までお申し出ください（2017年12月末まで）。

医療データ等の提供をご辞退された場合は、連絡を受けた時点でご提供頂いた医療データは廃棄させていただきます。また、ご辞退されたことにより患者さんが治療上の不利益を受けることは一切ありません。

問い合わせ先

担当診療科 脳神経外科

担当医師 西田 武生、村上 知義

電話番号 06-6879-5111